

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS × KANDA

ゴール7「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



私たちの生活に、電気やガスなどのエネルギーは必要不可欠です。今その多くは石油や石炭などの化石燃料を元にしたもので、これらを燃やすことで発生する二酸化炭素などを原因とした

地球温暖化が進行しています。そこで注目されているのが、二酸化炭素を排出しない太陽光や地熱などを活用した「再生可能エネルギー」です。しかし、日本の総発電量に占める再生可能エネルギーの割合は、他の先進国と比べて低く、多くを化石燃料に頼っているのが現状です。再生可能エネルギーは発電コストが高いことや天候等に左右されやすいなど、解決すべき課題が多く残っています。また、世界を視野に入ると、そもそも電力を利用できない人が7億人以上いるとされています。これらの人は、薪や動物の排泄物などを燃やして生活しており、空気汚染による健康被害をもたらすため、「無電化地帯」の解消も問題となっています。

苅田町の取り組みは？

公用車に電気自動車を導入

苅田町では、2050年脱炭素社会の実現に向けた温室効果ガス排出削減の取り組みの一環として、今年度、公用車に電気自動車を導入します。この電気自動車は、災害発生時に避難所等での非常用電源としても活用します。今後も公用車の電力化に限らず、気候変動対策への取り組みを通じて脱炭素社会の実現を目指していきます。



▲購入予定の電気自動車

わたしたちにできることは？

全体のエネルギー消費量のうち、家や個人店での消費の割合は、約30%を占めていると言われています。そのため、私たち一人ひとりが限りある資源を大切にしなければいけません。下記のようなことに取り組みしましょう。

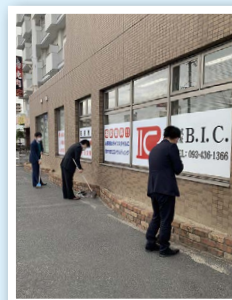
- 使っていない電化製品のコンセントは抜いておく
- 電気はこまめに消す
- エアコンの設定温度を上げすぎない、下げすぎない
- できるだけ公共交通機関を利用する

みなさんのSDGs活動紹介

株式会社 B.I.C.

地域を想い、小さなことから

株式会社 B.I.C. は、平成15年に設立された総合保険代理店です。北九州・行橋・京築エリアに特化した「地域密着型」を特徴とし、損害保険をはじめとした様々な保険を取り扱っています。同社では「SDGsの目標に1つでも貢献したい」と、ペーパーレス化の取組としてタブレット端末のみで契約が完結する仕組みを取り入れました。また、駅周辺の清掃を行う地域コミュニティ活動に参加する社員さんもいるなど、地域貢献活動にも意欲的に取り組んでいます。



- 株式会社 B.I.C. 苅田町京町 2-1-1 B.I.C. ビル 1F
☎ 093・436・1366

今後は清掃の範囲をさらに広げて、社員のモチベーション向上、働きやすい環境づくりにも積極的に取り組めます。そして地域に根付き、地域に愛される保険代理店を目指します。



代表取締役
菅原健太さん